

金重配水場応急給水施設開設方法(住民用給水栓)

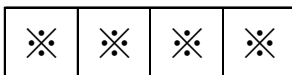


① 自家発電機フェンス扉の鍵を開錠して、自家発電機置場に入場する。



出入口のワイヤー錠を開錠する。

開錠番号



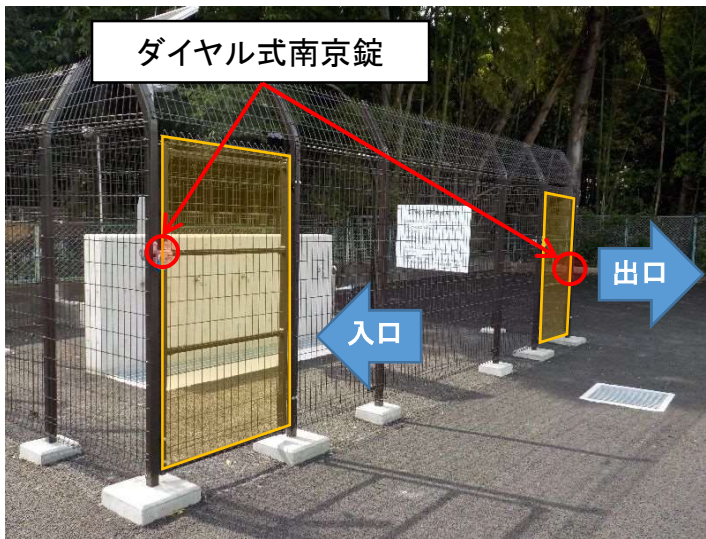
開錠番号は、自治会経由でご連絡いたします。

② 自家発電機を稼働させる。 ※ 別添「自家発電機の稼働方法」を参照



※ 自家発電機は、一度稼働させてしまえば、以降に到場した住民の方は操作不要です。

③ 住民用給水栓のフェンス扉(出入口各1か所)の南京錠を開錠して入場する。



※ 開錠番号は、自治会経由でご連絡いたします。防犯上、開錠番号を変更する場合はございます。変更した場合についても、自治会を経由してご連絡いたします。

④ すべての蛇口を開き、**約10分間**、水を流して排水する。(停滞水の排水)



※ 5栓 全ての蛇口を開き、約10分間、水を流してください。

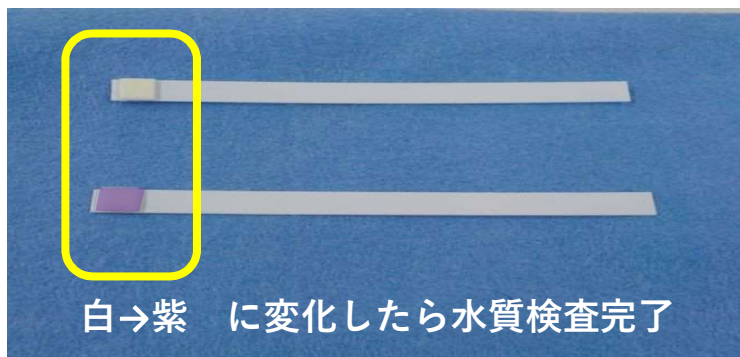
⑤ 簡易水質検査(残留塩素測定)を行い、給水を開始する。



住民用給水栓エリア内にある
収納箱から**試験紙**を取り出す。



試験紙を1枚取出し、蛇口から流れる**水に数秒間当てる**。



試験紙の色が変化(**白→紫**)が確認できたら、持参した容器に給水を開始する。

水道総務課 広報・防災係
TEL 048-714-3182

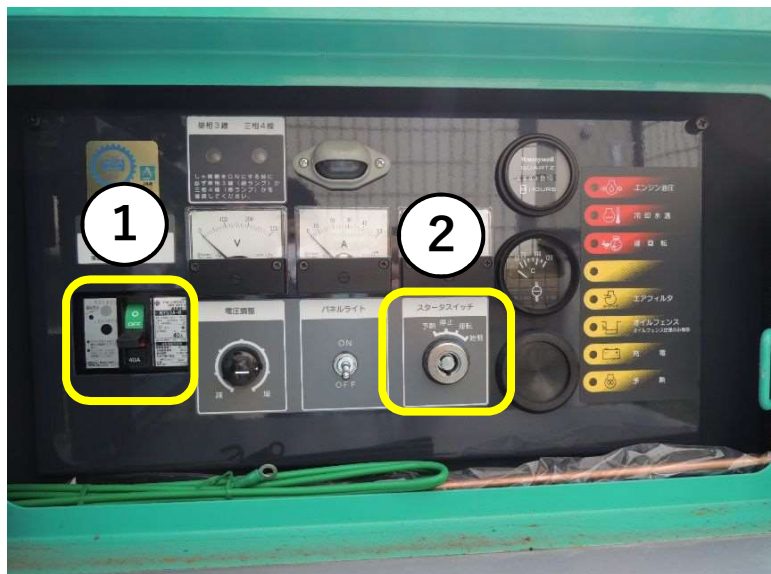
自家発電機の稼働方法

A 発電機の始動



【発電機正面】

取っ手部を引いて、パネルを開き、操作盤を操作する。



1. ①のしゃ断器が「OFF」になっていることを確認する。



2. ②のスタータスイッチを〔始動〕に動かし、エンジンを始動する。



(スターターキーは、操作盤内にあります。)

※ スイッチは、始動後に手を離すと〔運転〕位置に戻ります。

【気温が低く始動しづらいときの対処法】

- ・スタータスイッチを予熱位置に回して保持（約15秒）
- ・予熱ランプが消灯したらスタータスイッチを〔始動〕に動かしエンジンをかける。



赤点灯
→消灯



3. エンジン始動後、**約5分間**の暖機運転を行う。

4. ①のしゃ断器を「ON」にする。



※ 周波数や定格電圧は調整済みであるため、調速ノブや電圧調整つまみの操作等は不要

5. ポンプが自動で動き、蛇口から水が出てきます。

B 発電機の停止 始動時と逆の順序で操作する。

1. ①のしゃ断器を「OFF」にする。



2. このままの状態**約5分間**の冷却運転を行う。

3. ②のスタータスイッチを[運転]から「停止」に動かす。

